

インベスターデイ 2021 質疑応答

開催日： 2021年6月8日（火）

説明者： 執行役員 金属資源本部長 福田 哲也

司会進行： IR 部長 稲室 昌也

<質問 1>

スライド 7 で複合的な事業展開として、1.地下資源事業と鉱山関連事業、2.リサイクル原料と低炭素素材の供給、3.エネルギーソリューション事業が挙げられているが、オペレーターと共に取り組む事業と当社が主体的に取り組む事業をそれぞれ教えて欲しい。

<回答>

鉱山操業はオペレーターが担っているが、当社も経営に関与の上で事業価値向上へ向けた提案を行っている。その上で、当社の強みを如何に発揮し、優先順位を持って取り組んでいくかは、各事業の抱えている課題やプロジェクト所在国の環境などによって変わってくる。鉱山事業から発生するスクラップを我々のパートナーが引き取り、流通させるといったことを具現化している。また、チリの鉱山向け海水淡水化事業も当社が事業パートナーと共に取り組んでいる。

<質問 2>

今後中国からスクラップが多く出てくることが予想され、また、炭素税導入の国際的な動きもある中で、リサイクルの取組は重要と考えるが、この難易度が高い事業領域でどのように強みを発揮していくのか、また 10 年後にはある程度大きな規模のビジネスになるのか。

<回答>

当社は鉄スクラップ事業に 30 年以上前から取り組んでいる。過去はスクラップ産出国から需要国への海上貿易が中心だったが、スクラップに対する各国の規制が強化される中で、流通経路に変化が見られている。地産地消に進んでいくリサイクルビジネスに如何に取り組んでいくか、北米のスクラップ集荷事業や事業投資から培った様々な知見を駆使して、特に中国・アジアのスクラップビジネスの取組を考えていきたい。電炉比率はグローバルで現在 28%、2030 年には 10%近く上昇すると見ており、世界のスクラップの需要増、特に中国での鉄スクラップタイト化が見えており、如何に取り組むか現在検討中。

<質問 3>

ニッケル・リチウムの権益拡充の具体的な進捗、地域、開発ステージなどを教えて欲しい。

<回答>

電池原料となるニッケル・リチウムの需要は大きく伸びると見ており、その権益確保・拡充は非常に重要と考えている。未だ検討を進めている具体的な案件は無いが、上流権益に限らず、バリューチェーン全体での取組を拡充していく。

以上